



そうか。ここにあったんだ

1909年12月、鹿児島大学の前身である国立鹿児島高等農林学校に、林学教育・研究の場として、大隅半島の垂水市に高隈演習林が誕生しました。広葉樹と常緑樹が混生した山にマヤヒノキが植えられ、広葉樹も大きく育ち、現在の豊かな森がたくわられています。総面積3000haの広大な森は、自然に興味がある人たちが来ることができるのを100年前から待っています。教育や研究の場として育まれてきた鹿児島大学の森に会いに来てください。

演習林という森

演習林は、巨大な教室であり、実験室です。鹿児島大学が培ってきた様々な技術や研究、そして教育のフィールドとして、数えきれない程の若き学生たちに観し使われてきました。不思議や発見に満ちた森の面積は、演習林をもつ全県27大学の中でも一番目の大きさがあり、多くの生き物たちが住んでいます。

森と人が出会い

演習林は、主に農学部（林学分野）の学生が多く利用してきました。森と人との関係が深まる中で、最近では、教育学部など他学部の学生も多く訪れるようになってきました。ぜひ、自分の中にある「森」の森から一歩踏み出して、本当の森に会いに来てください。いきっと素敵な時間に出会えると思います。

そして、自分で感じる

多くの生き物たちが住んでいる森。住宅などの材料となる木材が育つ森。澄んだ水をつくり、きれいな空気をつくる森。いろいろな顔の森がそこにはあります。当たり前になる大切な機能がここで生まれています。森を出て感じると、懐しい日常の中で埋もれていた感性を思い出せます。



自然を体感する

普段とは違う森というフィールドで起こる、様々な変化を感じてください。街では感じなかった小鳥の声や風の音。まわりの仲間たちと共に深呼吸やストレッチにチャレンジして、いつもと違うホントの自然を体感できます。そして、ここで得た感覚を大事にすることで、きっと違う自分や多くの仲間と繋がっていきます。

【メニュー】
 深呼吸、キャンパス、ナイフハイク、たき火、野外料理、ネイチャーゲーム、人間関係トレーニングなど

くらしや文化に学ぶ

山の近くに「住み、生活する」人は年々少なくなっています。しかし、そこには貴重な「伝統」が息づいています。毎日の暮らしの中に多くの知識があり、地域の森を皆で支え合う「居」の心によって、豊かな生活環境が保たれています。ここに飛び込み、地域の人と直接話をすることで、多くの考え方や価値観に触れることができます。

【メニュー】
 村の暮らし体験（農業、製菓、ジビエ料理、お祭り、民泊など）フットパス、集落散策、交流会など

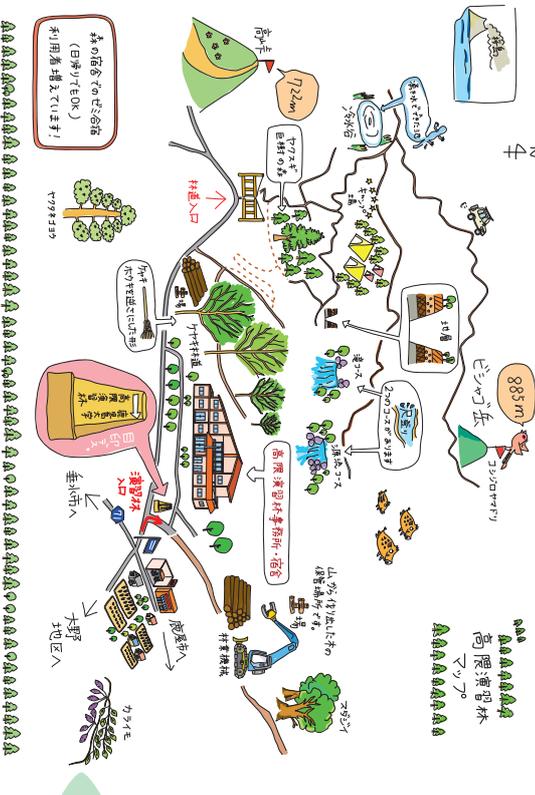


04 フットパス、05 集落散策、06 交流会



01 キャンパス、02 火遊び、03 ネイチャーゲーム

高隈演習林マップ



森林環境に学ぶ

森は、豊かな生態系をつくり、多くの生き物たちが暮らしています。そこには目に見えない「ルール」があり、その「理（ことわり）」を追究することで、いろいろな発見があり、生命の「源」となる水や土を支えられて多くの種が生き延びることに繋がります。また、環境と向き合うことで、気候を予測し、防ぐこともできます。森に入り、今まで知らなかった源に出会いましょう。

【メニュー】
 植物観察、植物採取、動・植物調査、地質・地形調査、水文調査など

林業に学ぶ

森と人が深くかわる職業が林業です。人々は山の樹木や地面の気候を調べ、多くの「技（わざ）」を磨いてきました。人が守ってきた森から生まれ出る木々を造材や、再生可能エネルギーなどの「素（もと）」として活用します。そして、使った後は、もう一度木を植えて、再び森をつくります。次世代につなげる林業の営みを感じることができます。

【メニュー】
 林業体験（植樹、枝打、除伐間伐、林業機械見学、森林資源調査など）



10 木材工場、11 林業体験（植樹）、12 林業体験（講堂）



07 滝、08 動植物観察、09 ヒキガエル